

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年10月1日（火）
- 2 確認箇所
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（図1）
- 3 確認項目
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備増設工事の状況

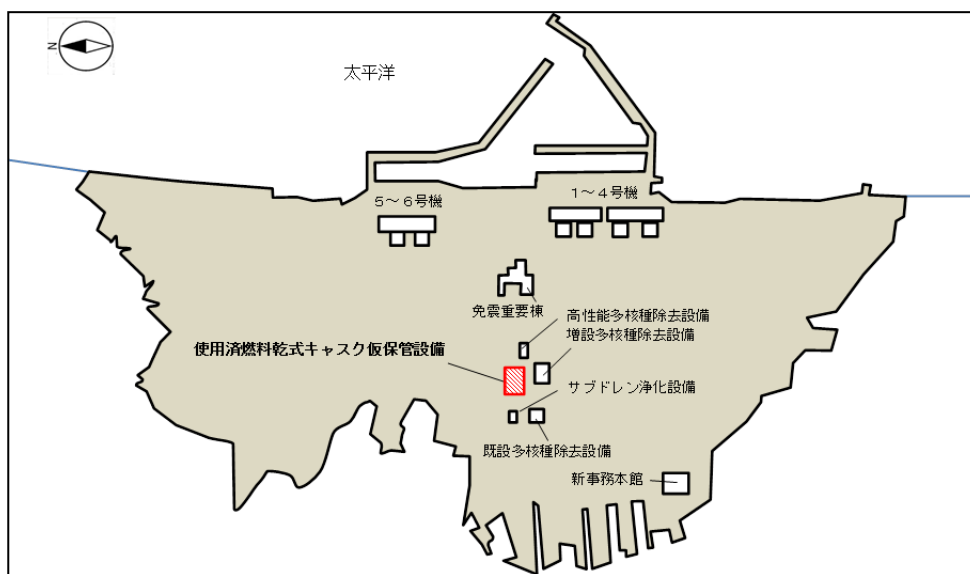
4 確認結果の概要

6号機使用済燃料プールに保管されている燃料は、全数共用プールに輸送される計画である。輸送先の共用プールにおいては、6号機使用済燃料プールから取り出した燃料を保管するスペースを確保するため、現在保管している使用済燃料を乾式キャスクに装填し、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（以下「乾式キャスク仮保管設備」という。）で一時保管するとしている。

乾式キャスク仮保管設備では、敷地東側を拡張して保管容量を増やす工事が実施されていることからその状況を確認した。（前回確認：[令和6年6月13日](#)）

（確認結果）

- ・地盤改良工事は終了し、基礎コンクリート打設に向けて、敷地拡張予定箇所南側において、地盤改良工事箇所の上に鉄筋を配置する作業が実施されていた。（写真1）
（敷地拡張予定箇所の約半分程度で鉄筋を敷設中であり、北側は今後実施し、拡張工事の完了は、令和7年8月頃を予定している。）
- ・使用済燃料乾式キャスク設置予定箇所については、重量物の設置に対応するため、地盤改良土を高さ1m程度盛土する形で施工されている部分もあり、全体での改良厚は3.1mとなる。今後さらに地盤改良土の上に、1.8m厚の基礎コンクリートを覆う予定。（写真2）
- ・現場の安全強化対策の一環として「現地KY」の気づき事項を各作業員へ周知する取り組みが行われていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
敷地東側拡張工事の状況
(南西側から撮影)
(令和6年6月14日撮影)



(写真1-2)
敷地東側拡張工事の状況
(南西側から撮影)
(令和6年10月1日撮影)



(写真1-3)
配筋等敷設作業の実施状況
鉄筋類を
重機～玉掛作業で荷下ろし
(南西側から撮影)
(令和6年10月1日撮影)

地盤改良土の盛土箇所
(使用済燃料乾式キャスク
設置予定箇所)



(写真 2 - 1)

地盤改良工事の状況

(モルタルで目地を均一に均し、
乾式キャスク設置予定箇所には、
+1.0m を盛土済。北側での配筋敷設
は、これから施工の予定)



(写真 2 - 2)

配筋等敷設作業の実施状況①

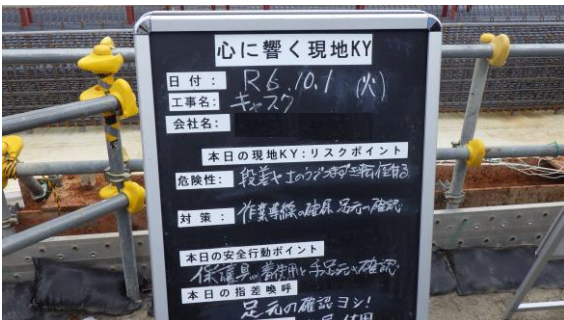
北側における作業は未了
(北西側から撮影)



(写真 2 - 3)

配筋等敷設作業の実施状況②

乾式キャスク仮保管設備を増設する
敷地の南側半分では基礎コンクリート
打設に向け、配筋等の敷設作業を
実施中 (南西側から撮影)



(写真 3)

作業安全対策の一環として「現地

KY」での気づき事項を各作業員へ
周知する取り組み状況

(工事現場南側に設置)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。